

令和7年度 第2回立川市幸学習館運営協議会 議事録

(第8期 第11回)

開催日時 令和7年5月19日(月) 午前9時30分～11時
開催場所 幸学習館 第1教室
出席委員 柴田 樋口 大竹 須崎 岡野 伊藤 西村 長原 竹内(敬称略)
欠席委員 3名
事務局 守屋 有田 吉田
会議の傍聴 公開
傍聴者の数 0名

資料

- 1 令和7年度第1回幸学習館運営協議会議事録案
- 2 チラシ

1 会長あいさつ

2 事務局報告

○生涯学習推進センター主催事業

- ・ロバの音楽座コンサート 6/14(土) 14:00～(13:30開場)

昨年度に続き、電話と電子申請で受け付ける。5/27(火)から受付開始。

広報5/25号に記事掲載。本日から市のホームページに掲載される。

委員の皆様には楽器の運搬や受付など、お手伝いをお願いしたい。次回の会議で集合時間などを確認する。

- ・かわせみ祭

作品展示 6/18(水)～22(日) 13団体が参加。

委員の皆さんに、展示物の見守りと作品販売の担当の当番をお願いする時間帯がある。

舞台発表 6/21(土)、22(日) 15団体が参加。

日ごろの活動の集大成。

公開教室 6/14(土)～7/4(金) 29団体が参加。

申し込み制のものもある(5/27から受付)。

- ・団体企画型講座「十文字自彊術体操初心者セミナー」について 6/7(土)

市内で活動している団体が企画して実施する講座。電子申請のみで受付したが、受付開始日に定員がいっぱいになった。

○地域学校協働本部事業について

- ・南砂小 1年生 60名。だいぶ慣れてきて、特に困ったこともなくできている。
侵入事件から、入るのが厳しくなって、鍵が全部閉まっている。
＊関連して、不審者対応等の情報交換、意見交換。

3 議 事

(1)「令和7年度第1回運営協議会議事録」の確認

(2) 事業について

○議事録について

市の全体的な流れとして、名前を出すなら「委員A」などとして、市のホームページ掲載時には発言者の名前を隠す。ただ、会長だけは会長の発言として残る。議事録は個人に責任が行かないような配慮をしようと決まった。

○調理などをおこなう講座について（情報）

これまでと少しやり方を変えたほうが良いのではないかという意見が出た。衛生面の確保やアレルギー対策を徹底する必要があるという考えがある一方、これまで地域の方と作り上げた講座や流れは信頼関係でできていたのがいきなり壊されるのはよくないという意見もある。生涯学習推進センターとして方針を決めたほうが良い（夏に料理を提供するイベントがあるので5月末までに）。オール立川で子どもや参加者の安全をどのように守ったらいいか議論が頻繁にされている。この場では指針を出せる段階ではない。拙速に進めるのではなく、意見を丁寧に聞いて進めたほうがよい。皆様のご意見をいただければと思う。「子どもおやつ作り」は講師との打合せもしているので、予定通り進めていきたい。大きな流れとしてはアレルギーや衛生面の確保については考えていかななくてはいけないと思う。

＊この件に関連して、質疑応答、意見交換。

委員A：係長が変わるたびに方針が変わっていた。結論が出る前に「おやつ作り」のメニューを講師と相談していかないといけない。どういう風に進めたらいいか？

事務局A：電子申請の応募フォームに、アレルギーがあればアレルゲンを書くことにしている。

委員A：アレルギーがある場合は、応募者はどういう扱いをするのか？

委員B：申し込まない。あえて申し込むなら自己責任。メニュー、どういう材料、調味料を使って、そこまでアレルギーのことを載せる。それを見て参加判断をしていただく。

委員A：フォーマットに「同意する」という文言は出てくるのか？

事務局A：食材の事前表示をすべきという意見もある一方で、そこまでやってしまうと柔軟な食材選びとか旬の食材選びというのが難しくなるという意見もある。まだ決まっていないが、根底として共通は「徹底する」ということ。やり方として事前に食材を示すか、アレルギーの有無をきちんと把握してその食材を使わないのか、どちらかだと思う。今回の「おやつづくり」については、アレルギーがあるということであれば、その食材を使わないようにする（特にその子どもに対しては使わない）。

事務局B：今までのことを振り返ると、アレルギーが出るような食材は使っていないように思う。

会 長：外している。最初的时候にこういう食材を使うと提示している。アレルギーあるかどうか

か受付のときに確認して、「ある」と言われたらご本人はキャンセルしたことがあった。今回は電子申請だったので、どういう形にするのかきいたら、申し込みの時にアレルギーがあるかどうかチェックするとのこと。申し込みするときに「うちの子はこれがあるからやめておこう」という判断になると思う。あえてアレルギーがあるのに参加しようとは…。3回連続で出なければいけないのではなく、このときはいいけどこのときは出ないというのは可能。食材が書いてあればそれを見て、チェックして申し込みされるのではないかな。自己責任は難しい。受付のときにあるという場合には特に確認してほしい。

委員A：当館に限って言えば、最初が 7/26 なので、そろそろ先生と打ち合わせてその趣旨を伝えて、選んでもらうようかもしれない。

事務局B：電子申請を考えたが、今は過渡期であることを考えると、電子申請をやめて、従来通り電話での申請にして、口頭でアレルギーがあるかを聞くという従来のやり方にしたほうが今年度については無難か？ 「おやつ作り」については、親御さんが申込むことを想定した。今の親御さんは電子申請のほうがやりやすいと思ったので、今年度は電子申請にしようと思い、準備した。その中にアレルギーについて尋ねる欄を作った。けれど、今の過渡期の状況を考えると、「本当はあるけど書いていなかった」というようなことがあるとまずい。それを考えると今年度は様子を見て、今まで通り電話で受け付けるか。全体の決定を踏まえて電子申請は来年度以降にすることを考えるか、と担当として思った。

事務局A：市の大きな方針は電子で申し込んでいくというのが流れとしてあるので、ハイブリッドか電子申請のみなのか、だが、アレルギーの確認に万全を期するのであれば電話での申し込みのほうが良いのではないかな。すでにフォーマットは作ってある。電子申請であれば、個別に電話して聞くとか、足りない部分は補うようなやり方で。どのようにやっていくか考えたい。

会 長：電話だとなかなか申し込むのに半日かかるなど、申し込みができなくてがっかりと聞くので電子申請がいいとなったが、面倒かもしれないが電話で受けてもらってアレルギーを確認してもらったほうがより安全なのではないかな。気を付けてメニューは考えている。その材料がなければこのおやつは作れないとなればどうにもならない。それを変えることはできない。お話ししていただいて、申し込みするかしないかは話した中で決めていただく。判断は申し込んだ方に判断していただく。今年度は従来通りでお願いしたい。

委員A：電話だとあいまいさが残る。話すほうと受け取る側のアレルギーに対する程度の問題。電子申請はイエスかノーかどちらか明確になる。事務的でかわいそうな感じがする。ききとってあげて「ぜひ参加してください」「ちょっとやめたほうがいいですね」とやったほうがどちらかというところご家族向きの対応と思う。

事務局A：どちらにもメリット、デメリットあると気づかされた。電話だと子ども本人が申し込んだ場合、あいまいな部分がある。いったんご意見いただいて学習館で話し合う。いずれにしてもアレルギーで事故が起こらないようにという視点で進めたい。

○令和7年度地域活性化講座について

- ・子どもおやつ作り教室 7/26、8/9、8/23（土）9：30～12：00
- ・ベビーマッサージ

前任者からは話程度しか聞いておらず、詳しい内容についてはまだ打合せしている状態ではない。これから検討していく課題がある。委員さんと話をしていく。

・かわせみカフェ

委員C：マンネリ化してきているので、リニューアルしたい。企画・運営をする学生の体制ももう少し充実させて進めたい。ここでのプレゼンを1回しかしていなかったが、来月6/2の会議のときに1回目の学生の構想についてプレゼンをさせていただいて、委員さんの参画型のカフェにしたい。ご意見をいただいて次回2か月後くらいにブラッシュアップさせたバージョンをプレゼンする。前回の振り返りのときに学生だけが企画するのではなく、最近高齢者の参加率がよくないので、そういった方にも役割を担って参加していただくとやりがいを持っていただくことができるのではないかと、というご意見もあった。そういったアイデアも6/2のときに皆さんからいただきたい。今年度は学生が動き出していて、「絵本の世界を学習館の中に作りたい」というサブテーマで活動していこうという方向性で進んでいる。メインのテーマは「地域の中の世代間交流を促す」ということと「コミュニティづくり」ということで「学習館の存在を新規の学習館利用者にも広げていく」。そこは毎年変わらない。今日、日程を定めていただきたい。

＊こぶし会館臨時休館に伴う当事業への影響について検討

＊他館の同時期に実施する事業予定の確認

＊いつも近隣の幼稚園のクリスマス会の時期とぶつかるので、日程の検討を

＊当館の利用状況を確認

⇒今年度は12/6(土)実施の方向にしたい。確認して、6日では不都合が生じる場合は、早めにご連絡する。

・防災講座

1/17(土)実施の方向で進めたい(阪神淡路大震災の日でもある)。調整して不都合があれば日程を調整する。講師は立災ボの上條様をお願いしたい。例年、7月に打合せを実施しているので、そのくらいの日程ですすめたい。

4 各委員より報告

- ・児童館イベントについて…6月に遠足を実施する予定
- ・新規の地域活性化講座に関する提案について

会長：違う講座を考えても良いのではないかと。かつて「まちを知ろう」ということで、幸町と栄町をコースとして回った。まちも変わったから、「まち歩き」をやっても良いのでは？ 今年には日程的には無理だが。

委員A：「かわせみカフェ」で実施しても単独事業でも構わない。栄町の全周を回ってみませんかという講座を企画したいという話を会長とした。地域の役者はたくさんいる。「おもしろいですね」とのってくれる人がいるか。誰に案内してもらうかというところ、ここにいらっしゃる方がガイド役。地域の有名人ばかりなので、昔からのいきさつなど。

作業所を一般市民、地域の方に見ていただいてもいいかと、議論があるがそういうところに立ち寄って地域であたたかく見守りましょうというところでご案内してもいいかと。

栄町の南側は浸水地域で大雨が降ると水がたまるから、避難のときは工夫がいるなど、

皆さんが知らない話題を提供できたら面白いのではないかな。

会 長：今年ということではなくて来年度四月の初めでもよい。そういうものを地域を知りたいという中ではよいのではないかな。

委員A：今年度できなければ向こう1年間の全体スケジュールの中でできれば。

委員C：かわせみカフェの中の一つのイベントにして実施したらどうか？

会 長：8小の二宮金次郎像のところを皆さん通り過ぎているだけで、あることさえ知らない人も中に入る。

委員A：8小の校長先生にも勧めていただいて。いろいろなコースを作れると思う

会 長：皆さんものっていただけるようであれば考えましょう。

委員C：学生と相談する。

5 その他

- ・地運協パネルの確認。5/29（木）午後3時から作業をおこなう。

- ・次回の開催日：6月2日（月）9：30～11：00 幸学習館第1教室